

~愛しているから守りたい~

VOL.4



ゆんたく シーサー

ゆんたくとは、
沖縄の方言で
「おしゃべり」
のことです。

**辺野古移設がベストな
選択であるこれだけの理由**

Comic

しーちゃん&マヤの
**「中国の侵略から
沖縄を守れ！」**

**狙われる沖縄
迫り来る中国の脅威
中国共産党による沖縄侵略の動きと、
琉球独立運動**



**中国の侵略から沖縄を
守るオスプレイ**
米軍基地の真実



沖縄は第二のウイグル・チベット・南モンゴルになってしまうのか？

狙われる沖縄

中国は、南モンゴル、東トルキスタン(新疆ウイグル)、チベットなどの隣国に相次いで武力侵攻し、領土を拡大してきました。現在もこれら少数民族への弾圧や虐殺は続いています。

さらに中国は陸地から海洋へと触手を伸ばし、南シナ海のフィリピン、ベトナムの島嶼を占領、一方的に「三沙市」と名付けて実効支配しました。中国が次に狙っているのは、台湾、沖縄です。2013年、中国は尖閣諸島の領有のみならず、沖縄の領有をも主張するようになりました。2011年には琉球特別自治区委員会を発足させ、一方で沖縄県内の琉球独立運動や米軍基地反対運動を支援するなど、かつてウイグル、チベット、南モンゴルを自治区に組み入れた時とまったく同じ展開を見せています。

中国の領有主張 次は沖縄に照準

尖閣戦略のカードか

中国は、南モンゴル、東トルキスタン(新疆ウイグル)、チベットなどの隣国に相次いで武力侵攻し、領土を拡大してきました。現在もこれら少数民族への弾圧や虐殺は続いています。

さらに中国は陸地から海洋へと触手を伸ばし、南シナ海のフィリピン、ベトナムの島嶼を占領、一方的に「三沙市」と名付けて実効支配しました。中国が次に狙っているのは、台湾、沖縄です。2013年、中国は尖閣諸島の領有のみならず、沖縄の領有をも主張するようになりました。2011年には琉球特別自治区委員会を発足させ、一方で沖縄県内の琉球独立運動や米軍基地反対運動を支援するなど、かつてウイグル、チベット、南モンゴルを自治区に組み入れた時とまったく同じ展開を見せています。



中華民族琉球特別自治区援助籌委會 公告



春天有今天是如此美麗……
到中國去·你踏在世界花園！
我在中國·我已在世界花園！
我是中國人·我幸福·我也為幸福種子播種！

中日人民友好從建交兩國開始……
中美人民友好從歸還琉球託管開始……

中華民族
電話：00130
聯繫郵件：liujiu@china.com
liujiuyouxiang@gmail.com
聯繫人：羅東

2011年3月22日

《開國宣言》部分內容
對東亞自一九一四年第一次世界大戰開始後太平洋東岸東亞地區一切島嶼·海峽·海日本在中國所屬之領土範圍內均屬中華民族所有·並應由中華民族接管(英文原文見「中國共和國」)

《漁業權宣言》部分內容
對東亞之領土所有權歸於中華·並應由中華民族接管(英文原文見「中國共和國」)

《領土內向同盟國家投訴的陳書》部分內容
去年夏秋間·中華政府向英法美德意·蘇俄等國提出投訴·聲明為東亞領土之聯合領土·及具有特殊地位之現代國家之一切命令·均屬非法·且應予以廢止。

《籌備委員會》



羅援少將が魚釣島占領計画を発表



釣魚島を中国の行政区にします。

中華民族琉球特別自治区委員会が発足!



無差別連行されるウイグル人



隣国を次々と侵略し、今も大虐殺を続けている中国



チベットでの弾圧



チベット人への弾圧

迫り来る中国の脅威！



中国が尖閣領海に投下している「釣魚島は中国領」の石碑
大隅海峡を通過する中国艦隊



尖閣奪取を念頭に行われた
人民解放軍の離島上陸訓練



魚釣島と日本漁船の間に、中国海監が割り込むアングルで撮影された写真。中国メディアは「釣魚島を日本右翼から守る海監」という見出しで、大々的に報道した。

海監・海警

中国海警局に所属する海監・海警は、機関砲などを備えており、実質上の軍艦である。中国海警局を統括する国家海洋局は、第2の海軍と呼ばれている。



尖閣沖で、海上保安庁の巡視船に武器を向ける中国海軍兵士



中国 侵略と虐殺の歴史

1947年	国共内戦のさなか、内モンゴル自治区設立
1949年	東トルキスタンを侵略
1950年	文化大革命・中国国内外で粛清・民族浄化及び餓死で 3000万人以上が死亡
1951年	チベットに軍事侵攻し、 120万人以上のチベット人虐殺 。壮絶な弾圧が始まる。
1955年	東トルキスタンを新疆ウイグル自治区とし、1972年までに 30万人以上のウイグル人を虐殺
1959年	中国がインドと国境紛争、カシミール地方の占領
1964年	新疆ウイグル自治区で核実験開始。以後、1996年まで46回の 核実験により数十万のウイグル人が死亡 。
1966年	1976年にかけて、 数十万人のモンゴル人が中国共産党によって粛清 される
1969年	珍宝島で中国軍がソビエト軍と衝突
1972年	日中国交正常化
1979年	中国がベトナムを武力侵略。中国が懲罰戦争と表明
1988年	スプラトリー諸島に軍事侵攻し、複数の島を占領。島を人間の鎖で守るベトナム兵を、木っ葉微塵に撃ち殺した映像を、テレビで放映。
1989年	天安門事件。天安門広場での民主化運動を軍隊が鎮圧し、 数千～数万人の人民を虐殺
1992年	中国が「 領海法 」制定。南沙諸島と西沙諸島の領有を宣言
1995年	フィリピンのEEZ内にあるミスチーフ環礁に建築物を建て、実効支配
1996年	中国が台湾海峡でミサイル発射し台湾を恫喝
1997年	中国がフィリピンが歴史的に領有してきたスカボロー環礁の領有を主張
2005年	中国が「 反分裂国家法 」を制定し、台湾が独立宣言すれば武力行使すると明言
同年	台湾問題に介入するなら核攻撃を行うと示唆し、アメリカを恫喝
同年	中国海軍が春曉ガス田付近に軍艦派遣で示威行動
2006年	ブータン北西部に人民解放軍が侵攻。兵庫県と同じ面積を中国領土と宣言
2010年	中国が海南国際観光島建設計画を発表。ベトナムは領土侵犯と強く抗議。
2010年7月1日	「国防動員法」 施行。中国国内で有事が発生した際、中国国外に在住する中国人民も動員工作を実施する義務を負う。
2012年	南沙諸島（スプラトリー諸島）に中国が新レーダー施設建設
2012年	中国当局が南沙諸島に監視船を送り、フィリピン海軍と長期間にらみ合う
同年	「中国軍が2年間で500回も越境した」とインド閣僚が発表
2012年	軍事侵略した西沙諸島の島に中国が一方向的に「三沙市」を設立 沖縄県今帰仁村にあるNHK・NTT・携帯電話各社の中継アンテナ、航空自衛隊レーダーサイト周辺を中国企業が買収
2012年9月	中国初の航空母艦「遼寧」が就役
2013年10月9日	台湾が国防白書で「中国は2020年までに台湾侵攻整える」と発表



ウイグル人に銃を向ける中国の武装警察



チベット僧への弾圧



中国の武装警察が自国民の暴動鎮圧に使うスパイク付きこん棒



三沙市永興島を占領し上陸する中国海軍



中国共産党による沖縄侵略の動きと、琉球独立運動



75%的琉球人支持独立

教科書検定撤回を要求する県民大会の航空写真に「75%の沖縄県民が独立を支持」というテロップをつけて情報操作。実際には県民の99%が独立には反対している



唐淳風：中国有責任支持琉球独立

教科書検定の県民集会を「琉球独立を求める集会」であるかのように報道した中国のテレビ



尖閣沖漁船衝突事件



中国の反日デモに「沖縄解放」の文字が

2012年の反日デモでは群衆が暴徒化し、日本企業を襲撃。有事の際は「国防動員法」が発令され、日本在住の中国人が人民解放軍の民兵と化し、国内は大混乱に陥る




1972年	日本人民民主共和国の樹立と天皇の処刑を目的とする、中国共産党の秘密文書「日本解放第二期工作要綱」の存在が明らかになる。
2007年10月8日	「琉球復国運動基本綱領」を発表。琉球の公用語は中国語とし、琉球人民に徴兵制を敷くことを「琉球臨時憲法案」で規定。
2010年4月10日	中国艦艇10隻が宮古海峡を通過
2010年9月7日	尖閣沖で中国漁船による海保巡視船への体当たり事件発生。
2010年9月19日	中国の学者・唐淳風が、沖縄の主権は中国にあると主張
2010年10月16日	成都市の反日デモの先頭集団が「琉球回収、沖縄解放」の横断幕を掲げる。(※解放＝解放軍による軍事的侵攻の意味)
2010年11月8日	「環球時報」が、「中国は琉球独立運動を支持すべき」と主張
2010年11月	中国学者・唐淳風が、「教科書検定撤回を求める県民大会」や渋谷でのイラク反戦デモの写真を「琉球独立を求める沖縄県民」と偽り、ネットやテレビで発信を始める。(⇒参考：鳳凰網サイト http://bit.ly/1axnOxq)
2011年2月10日	人民解放軍の張召忠少将がCCTVで、「琉球諸島は日本の領土ではない。したがって釣魚島は中国の領土なのだ」と主張。
2011年9月15日	解放軍の支援を受け、「中華民族琉球特別自治区委員会」が発足
2012年4月30日	中国海軍艦艇3隻が鹿児島県の大隅海峡を通過
2012年7月2日	人民解放軍の羅援少将が鳳凰TVで「釣魚島に中国の行政区（釣魚島町）を設立し、ミサイル実験を行う軍事演習区とする」と発表
2012年8月15日	香港活動家7名が尖閣諸島に上陸
2012年9月11日	尖閣諸島を日本国が国有化。中国で中国政府主導の反日暴動が拡大。
2012年11月14日	中・韓・露による安全保障会議の席上、中国外務省の正式機関の幹部が「日本政府は沖縄を放棄すべきだ」と公式に演説。
2012年12月	中国軍の無人機が尖閣諸島に飛来
2013年1月	2回にわたり、中国艦が海自護衛艦に火器管制レーダー照射（ロックオン）。
2013年2月	羅援少将が中国国内のテレビ番組で「東京空爆」を公言
2013年4月23日	尖閣に中国戦闘機が40機以上飛来
2013年5月8日	「人民日報」に「琉球の帰属について議論すべき」とする論文掲載
2013年5月12日	中国所屬とみられる国籍不明の潜水艦が久米島沖接続水域を潜行
2013年5月14日	人民解放軍の羅援少将が「琉球は中国の一部であり、絶対に日本のものではない」と主張
2013年5月15日	沖縄県内で「琉球民族独立総合研究学会」が発足
2013年7月3日	中国海軍艦艇7隻が対馬海峡を通過
2013年7月	中国艦艇5隻が中国軍艦として初めて宗谷海峡を通過後、日本を一周。
2013年8月15日	人民日報が「沖縄は日本の領土ではない」とする論評記事を掲載。
2013年8月	沖縄県今帰仁村にあるNHK・NTT・携帯電話各社の中継アンテナ、航空自衛隊レーダーサイト周辺を中国企業が買収
2013年9月8日	中国軍の爆撃機2機が沖縄本島と宮古島の間を通過
2013年9月9日	中国海軍の無人機が釣魚島付近を飛行

辺野古移設がベストな選択であるこれだけの理由

理由 1

普天間基地を固定化させない

辺野古地区への移転について、これ以上反対すれば、「世界一危険な普天間基地」が固定化される可能性が強くなってきます。普天間基地周辺には住宅が密集しており、基地周辺の住民は基地移設を望んでいます。一方、辺野古地区の住民は、受け入れを容認しているのですから、宜野湾市民の安全、騒音からの解放のためには、辺野古移設がベストな選択なのです。



理由2

県民の基地負担軽減になる

「辺野古移設」とは、普天間基地を県民に返還し、その3分の1の敷地分だけを、キャンプシュワブに移転するというものです。全体の面積は3分の1に減るため、辺野古に移転することで、県民の負担軽減になります。また、住宅地の中にある普天間基地と異なり、辺野古は海に突き出た滑走路を新設しますので、騒音や飛行の安全性の面でも、県民の負担軽減になります。

理由3

名護の経済振興になる

飛行場の建設事業は、それ自体が経済効果を生みます。米軍再編で基地負担が増える自治体に対しては、再編計画の進展度合いに応じた「再編交付金」が、国の防衛予算から支給されます。名護市長が「辺野古移設」を拒否したため、この交付金の支給は規定どおりに停止されてしまいました。本来、この交付金で実施する予定だった、「学校・体育館・公民館等の整備事業」は廃止か、別の財源を充当することになってしまいました。

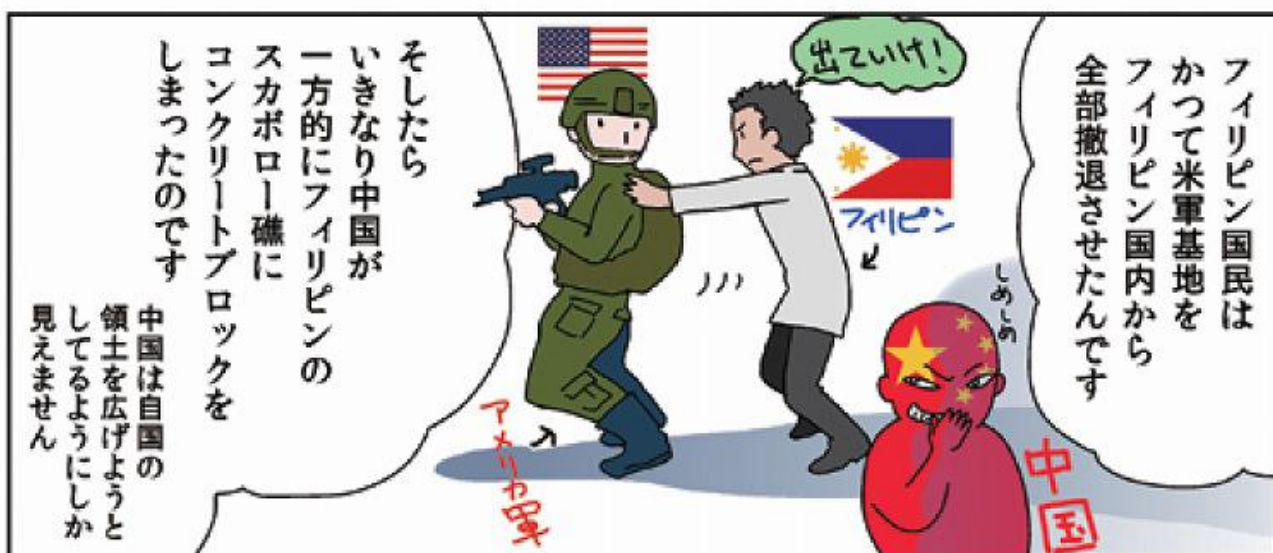
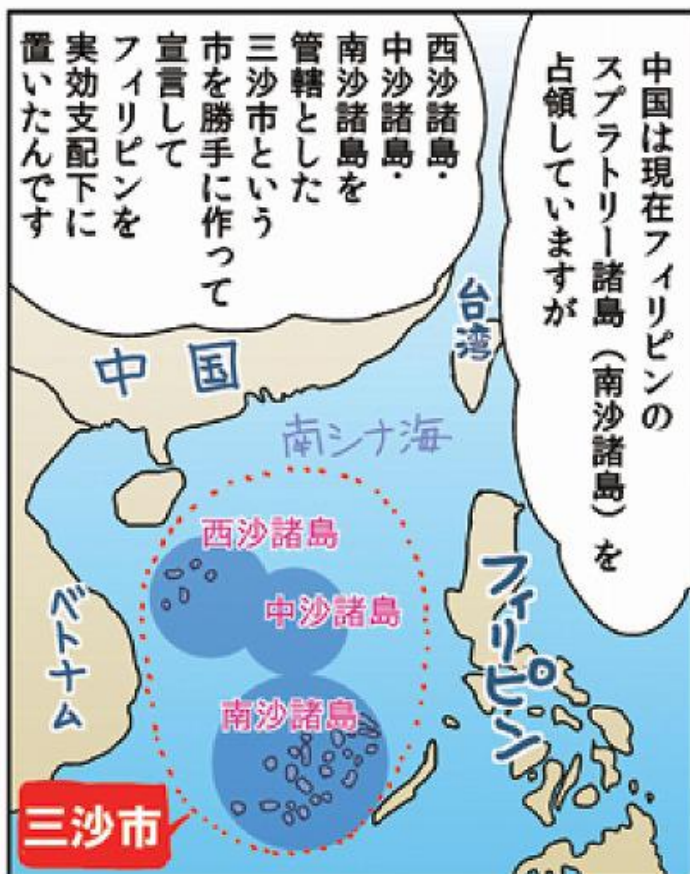
理由4

中国の軍事的脅威に対する抑止力になる

米軍基地を撤去すれば、沖縄の領有までも主張し始めた中国が、いったいどのような行動に出るかは明白です。万が一、沖縄が攻撃にさらされた時に、自衛隊の防衛力をのみでこれに対抗するのは不可能です。基地はいずれは県外へ。しかし、今はまだ米軍基地が必要なのです。

シーちゃん&マヤの 中国の侵略から 沖縄を守れ！











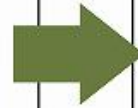
米軍基地の真実

～「米軍基地は沖縄に集中」のウソ～

数字の
トリック

沖縄には在日米軍基地の

~~74~~
%が集中



実際には

22.6
%

「沖縄には在日米軍基地の74%が集中している」とよく言われていますが、これは数字のトリックです。沖縄にある基地の面積は、**実際には、全国の22.6%**です。

米軍基地には、米軍のみが使用する「米軍専用施設」と、自衛隊と米軍が共同使用している「米軍一時施設」とがあり、沖縄の大手メディアや基地反対派がよく使う「74%」という数字は、「専用施設」の面積なのです。「米軍基地」と呼ぶ場合には、自衛隊と一緒に使っている「一時施設」も含むので、それらを加えると、**米軍基地全体が沖縄に集中している割合は22.6%になります。**

写真の
トリック

世界一
危険な
普天間基地



普天間基地

住宅密集地域にあるのは
普天間基地だけではなく



厚木基地
(神奈川県)



横田基地(東京都)
沖縄に次ぐ日本最大の米軍基地

そっくり
普天間基地

中国の侵略から 沖縄を守る オスプレイ

安全性

オスプレイ MV-22 の 10 万時間当たりの平均事故率は 1.98 です。米海兵隊所属の飛行機の平均事故率 (2.45)、在日米軍に配備されているヘリコプター (CH-53D) の事故率 (4.15) を大きく下回り、オスプレイ導入によって安全性は飛躍的に高まりました。

要人輸送

2003 年、バラク・オバマ上院議員 (当時) がイラク電撃訪問の際、オスプレイに搭乗しました。2013 年 8 月からはホワイトハウスのスタッフの輸送に使用開始。また、アメリカ大統領専用ヘリコプターの次期後継機としても、オスプレイが候補として提案される予定になっています。

防衛省も導入予定

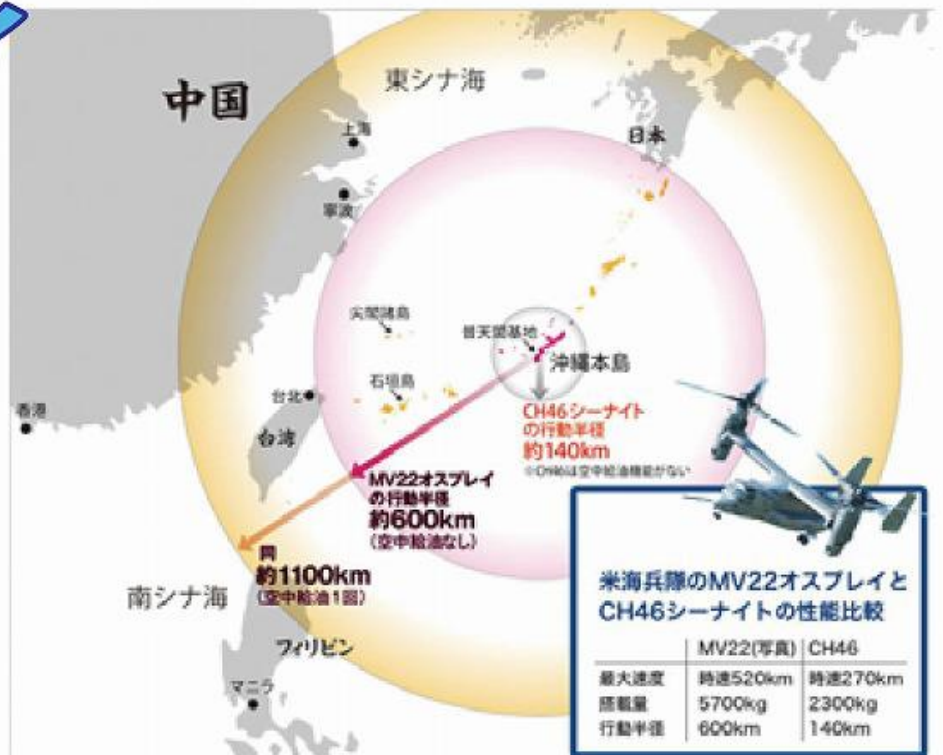
日本の防衛省は、早ければ 2015 (平成 27) 年にオスプレイを導入する可能性があることを明らかにしました。災害救援や輸送など自衛隊の活動目的に照らすとともに、離島対応に対する運用を研究することとなりました。

負担軽減

沖縄県の負担軽減に向けた取り組みとして、オスプレイを使用した日米共同訓練が全国各地の演習場で実施されることが決定しています。

がんばれ
オスプレイ

そうか！
オスプレイがあるから
中国は沖縄に
近づけないんだね！



※イラスト 「ザ・リパティ」 (幸福の科学出版)2012.8月号より

普天間飛行場
代替施設建設事業の真実



米軍基地の本当のこと 辺野古移設の本当のこと

「ゆんたくしーサー」愛しているから守りたい」VOL.4 2013年11月発行 発行／幸福実現党 編集人／矢内筆勝
お問い合わせ／幸福実現党本部 〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-8 電話03-6441-0754



狙われる沖縄

迫り来る中国の脅威

中国共産党による沖縄侵略の動きと、琉球独立運動
しーちゃん&マヤの「中国の侵略から沖縄を守れ！」

辺野古移設がベストな選択であるこれだけの理由

中国の侵略から沖縄を守るオスプレイ

沖縄米軍基地の真実

